

ひまわりの苗を無料配布
町花普及・環境に優しいまちづくり

松前公園老人広場で6月12日、ひまわりの苗を無料配布しました。この苗は「まちづくり塾」(重松茂塾長)や「いきいきまさきっこボランティア」の子どもたちの協力により育てたものです。

今年は、例年の町花・ひまわりを広く知ってもらうために配布している品種に加え、「ひまわりバス」の燃料の原料となる品種を初配布。各家庭で開花したひまわりの種を搾油して食用油に使用した後、バイオディーゼル燃料として利用する予定です。

④種を植えるボランティアの子どもたち ⑤苗を持ち帰る親子



町をみんなできれいに
郷土を美しくする清掃

「郷土を美しくする清掃」は6月3日、北黒田・新立海岸、塩屋海岸をはじめ、町内各所で行われました。

この清掃は、昭和45年から続けており今年で48回目です。当日は、小中高生をはじめ、PTA、老人クラブ、町内企業から約2,000人が参加したほか、北黒田・新立海岸にはえひめ国体・大会のマスコット「みきゃん」も登場。みんなで可燃ごみ約3.5トン、不燃ごみ2トン車2台分を集め、町の美化と国体で気持ちよくお出迎えができるよう「おもてなし」の準備をしました。

④みきゃんと中学生が協力して清掃する ⑤塩屋海岸。一斉に清掃



新鮮な魚の贈り物に大喜び
遊漁船組合が福祉施設へ魚を贈呈

松前遊漁船組合(三好一榮代表)は5月20日、瀬戸内海の新鮮な海の幸を満喫してもらおうと、和楽園と鶴寿荘にハマチ、イカ、ホゴ、アジなどを贈りました。

魚は、当日の朝に組合員が伊予灘周辺で釣ったばかりのものです。入所者の皆さんは、新鮮な魚がたくさん届いてびっくり。刺し身や煮付けなどにして、皆さんでおいしくいただいたそうです。



田植えて自然に触れる
青葉幼稚園・二名保育所「田植え」

青葉幼稚園の園児は6月12日、八束直司さん=徳丸=が所有する水田で、田植えを行いました。

これは、農業を通して自然に触れてもらおうと同園が地元農業区の協力を得て、毎年行っているものです。今年は、二名保育所の園児も参加しました。

園児たちは、泥まみれになりながら楽しそうに苗を植えていました。秋には、園児自身が収穫も行います。

軽スポーツで深める交流の輪
フレッシュ・リブまさきふれあい軽スポーツ大会

男女共同参画社会づくりを目指した「第12回フレッシュ・リブまさきふれあい軽スポーツ大会」は6月11日、松前公園体育館で開かれ、約270人が軽スポーツで交流を深めました。

大会では、「みんな集まれ! 学ぶ・つながる・広がる わ!」をテーマに、例年行っている風船割り、2人3脚や綱引きをはじめ、えひめ国体開催に合わせ、「えがお体操」やホッケーのスティックを使った「目指せ! 国体選手」など12種目の競技を実施。4チームに分かれ、勝敗を競いました。

会場では、同じチームの人たちと手を取り合って喜んだり悔しがったりする姿が見られ、参加者は、軽スポーツを通し、性別や年齢の枠を越えた参加者同士の交流を深めて、その輪を広げていました。



④力いっぱい引き合う ⑤「ゴールまであと少し。頑張れ! チームで励まし合う」 ⑥ホッケーのスティックでボールを操る

町の魅力を発信するため活動中
「まさきーいとこ見つけ隊」定例会

松前町の魅力を町内外に発信するために活動する町民有志のグループ「まさきーいとこ見つけ隊」の定例会は5月20日、福祉センターで開かれました。

今回は、町民や伊予高校生が参加し、渉外部、コース部、マップ・ちらし部、HP部に分かれ、世代の違う会員たちがそれぞれ意見交換を行い、町の魅力をどのようにアピールしていくのかなどを考えました。



交通安全の意識を高めるために
「松前町交通安全母の会」総会

「松前町交通安全母の会」の総会は5月30日、役場で行われ、同会役員と交通安全指導員が参加しました。

総会では、伊予警察署交通課長が交通事故発生状況の講話を行いました。参加者は、自転車に乗る時にはヘルメットを着用し暗くなれば反射材をつけること、車に乗る時には必ずシートベルトをし、チャイルドシートを使って子どもの安全を守ることを学び、交通安全への意識を高めていました。